

天皇杯準々決勝でスパイクを ブロックするJT広島



はばただけ！
JTサンダーズ広島



竹田 英司

気温の低下とともに私の食欲が戻った。ホテルの食事会場で最後まで居座る私を見た小野寺太志選手が「竹田さんだけ食費を2倍払ってくださいよ」といじってきたので、私は「天皇杯（全日本選手権）で優勝したら払う」と笑い飛ばしていたのだが…。

無観客で開催された天皇杯は無念の

● ファンのお便り 励みに

準決勝敗退となった。隣のコートでは兄妹チームのJTマーヴェラスが熱戦の末に決勝進出を果たした（19日に初優勝を飾った）。うれしさの反面、言い知れぬ悔しさがこみ上げてきた。

3密回避のため、今回は観客席から試合を撮影した。また、準決勝までの3試合のうち2試合は専用の控室がない環境だったので、試合前後に選手が何を話していたのか知ることができず、何とも寂しい思いをした。だからこそ、私の使命は選手の素顔をお伝えすることだ、と改めて思った。

東京駅へ向かう直前、記者会見を終えた小野寺選手が「何度も『今年を振り返って』と聞かれたけど、今日が今年最後の試合になったんですね」とかすかに笑ってつぶやいた。その横顔が美しかった。

広島に戻ると愛読者の方からお便りが届いていた。「天皇杯が終わると年明けまでJTの試合がない週末が続くので、それまで何を励みに仕事を頑張ればいいのか…」と書かれてあった。たとえば無観客でも遠征に出て良かった、と思えたひとときだった。

（JT広島マネジャー）